広田（ひろた）遺跡

【所　在　地】南種子町平山字広田
【種　　別】国指定史跡
【指定年月日】平成２０年３月２８日

広田遺跡
調査風景

出土人骨

種子島の海岸砂丘上に所在する，弥生時代後期後半～古墳時代後期，実年代にすると３世紀～７世紀にかけて営まれた大規模な墓地遺跡である。確認された埋葬施設と人骨，そして副葬品から，当地域における生活風習や埋葬習俗のあり方を知ることができる。列島の弥生，古墳時代社会と南島社会の接点における社会・生活のあり方を知るだけでなく，わが国の文化形成の多様性を知るうえで重要である。